



議員でつくる広報誌

# むかわ議会だより



2P～12月定例会・臨時会

4P～平成28年度決算審査特別委員会

8P～ここが聞きたい！6人の議員が一般質問

15P～議会報告会まとめ

17P～委員会報告

18P～議員研修会報告

No.45

2018.1.31 発行

発行  
責任者

むかわ町議会

〒054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地

編集

議会広報委員会

☎ 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

# 各 会 計 補 正 索 算

各 会 計	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計	3481万円	84億4617万円
後期高齢者医療特別会計	10万円	1億3110万円
介 護 保 險 特 別 会 計	131万円	9億3240万円

平成29年第4回議会定例会は、12月12・13日の2日間開催されました。

# 第4回議会定例会

- ◆職員の給与に関する条例の一部改正

- # ◆特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正

- # ◆議会議員の議員報酬 び費用弁償に関する条例 の一部改正

- 人事院勧告による改定内容を踏まえ条例の整備をす

- 問** 北村議員 議員報酬の改正について、報酬審議会では議会の活動と報酬の関係について、どのような意見がありましたか。

- 答** 胆振日高、近隣町にお

- 答 胆振日高、近隣町における報酬の状況について確認し、本町の現行の報酬が

- 答** 胆振日高、近隣町における報酬の状況について確認し、本町の現行の報酬が比較的低いランクにあり、平均的な金額に上げることが適当との審議内容です。



おいしいよ！

- # ◆一般会計補正予算

## ○農業振興設備等整備事業 主なもの

- ## 大豆色彩選別機導入のた 1千80万円

- 学校給食施設管理費  
731万円

- 問 佐藤議員** 12月11日の突風被害で公営住宅の屋根が剥離したが、年末を控え工事の状況は。

- 答** 屋根の鉄板及び防水シートが剥離して屋根下地

- 対策として防水シートを張る形で年内対応し、資材が用意でき次第、復旧工事に取りかかります。

- 問** 大松議員 公の立場として、金銭面で支援できな  
いにしても、被害に遭つた  
方々へ訪問し、寄り添つて  
いくことが必要では。

- 答** 停電時は高齢者の見守

- 被害に遭われた十数件は  
ます

住宅や納屋等々もあり、相談体制の充実に今後も努めます。

問 津川議員 公営住宅だけなく民間の被害も出ています。

行政が出向き、今後の対策も含め検討することが必要では。



ナイスショット

### 採択された意見書

#### 賛成討論

北村議員 核兵器廃絶を求める団体がノーベル平和賞を受け、日本が持つ憲法の役割を今こそ發揮すべきで

●診療報酬を引き下げる、地域医療を守ることを求める意見書

●道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直し、すべての子

どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

●教職員の長時間労働是正を求める意見書

●日欧EPA「大枠合意」の全容の情報を明らかにし、先行的な「暫定発効」をしないことを求める意見書

あり改正ではなく、平和と暮らしのため生かすことが大事な役割だと考え、賛成意見とします。

けていくことは、日欧EPAの場合、加工品が沢山入ってきます。原料の生産は特に北海道が多く大きな農業の町としても困る立場から賛成意見とします。

### 平成29年第1回 議会臨時会

(10月27日開催)

議案2件を可決、承認1件を承認しました。

### 【議案】

#### 【反対討論】

●日本国憲法第9条改正に反対する意見書

山崎満敬議員 自衛隊は、現実に実在します。自衛隊に関しては、国防に関する問題で地方議会になじまず反対意見とします。

大松議員 関税を撤廃し続

【賛成討論】

6千156万円  
(税込み)

◆産業会館外壁改修工事

相互建設株式会社



### 【承認】

衆議院議員総選挙の執行のため、1千215万9千円の補正を専決処分。

平成28年度各会計決算は、10月24日から26日までの3日間で決算審査特別委員会（津川篤委員長）で審査し、認定すべきものと決定。（88件）

※なお、委員会は議長、監査委員を除く全議員で構成されています。また、質問は要約されており、再質問、再々質問は紙面上の都合により、省略しています。

			歳入	歳出	採決の結果
一般会計			103億8006万円	101億2094万円	全員賛成
特別会計	国保会計	保険事業	16億5137万円	16億1873万円	全員賛成
		直診事業	4億6358万円	4億6276万円	全員賛成
	後期高齢者医療会計		1億2718万円	1億2700万円	全員賛成
	介護保険会計		8億7430万円	8億5330万円	全員賛成
公営企業会計	上水道事業		4億0590万円	5億1001万円	全員賛成
	下水道事業		5億3988万円	6億1281万円	全員賛成
	病院事業会計		2億9361万円	3億0771万円	全員賛成

一般会計など7会計に対して各委員から通告された質疑を行いました。

## 【主な審査事項】

### ◆一般会計歳入 住民税非課税世帯の 推移は

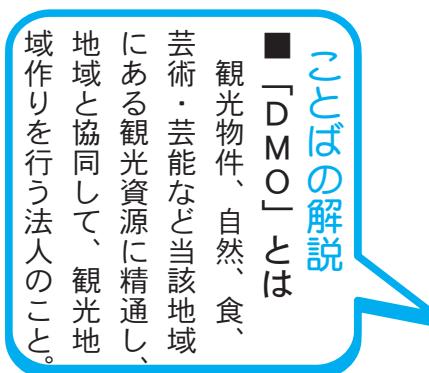
問 大松委員 個人町民税の非課税世帯や年金世帯の実態と、過去5年間の変化と考え方は。

答 「非課税と均等割のみ」の世帯は、減少傾向にあります。

しかし今後は、就業人口

が減少するとともに、年金受給世帯の割合が増え、非課税世帯等の割合の増加が見込まれます。

問 山崎満敬委員 情報通信施設使用料の滞納改善への取り組みは。



問 北村委員 新型交付金の取り組み実績は。

答 鵠川・沙流川流域広域交流圏域形成のDMO構築連携事業の交付金を活用し、ホームページの制作や、機運醸成のためのシンポジウムなどを実施しました。

### ◆一般会計歳出 ウェブサイトの保守契約の内容は

問 野田委員 町公式ウェブサイトの保守契約や、他町村とページの質・保守・

答 納入期限を過ぎた場合は督促状を送付し、事前通知のうえ利用停止しています。

未納分の一括納入が困難な場合は、生活実態等を聴取し、分割納入の対応を行っています。

問 佐藤委員 平成26年度（1億1千500万円）以降減少（28年度は約3千万円）していますが、新たな商品開発での対応は。

答 新たな方法で周知・広告を行っていなかったことや、大手サイト未登録が寄附金額の減少に繋がったものと考えています。

商品の内容や発送は、観光協会が担っていますが、更に連携し対応していくま

す。

ふるさと納税減少の要因は

## 制作料金の比較は

## 答 単年度委託方式 で、システム保守と サーバー保守です。

委託料は年間11  
6万6千400円と  
なっています。他町  
との比較はしていま  
せん。

# まちづくり耕上促進 事業の実施状況

**課題**があります。  
使用ルールのチラシの配布など、果夢工房と連携し検討していきます。

し、総運行回数は314回  
(鶴川・苦小牧市)、延べ  
利用人数は1、328人で  
す。

運営委員会に支出し、入所児童数に左右されるもので当初54人の入所児童を見込んでいたが、35人となつた結果です。



全道からの剣十（鶴川剣道大会）

**答** 優秀な人材を採用したにも関わらず、早期に退職してしまった事は非常に残念です。

**四季の館駐車場の管  
理と課題**

**問** 大松委員 キヤンピン  
グカーなどの利用時の駐車  
場管理と課題は。

**答** 口コミなどでキヤンピン  
グカー利用者が増えていますが、利用者同士によろ  
づやマナーの問題でトラブル

**課題**があります。  
使用ルールのチラシの配布など、果夢工房と連携し検討していきます。

し、総運行回数は314回（鶴川～苦小牧市）、延べ利用人数は1、328人です。使用料及び賃借料（穂別～鶴川）の運行回数は126回、延べ人数は315人です。

運営委員会に支出し、入所児童数に左右されるもので当初54人の入所児童を見込んでいたが、35人となつた結果です。

## 新規採用職員の早期退職者が多いが

芽だし事業が2件、共同事業が1件です。

**答** 管理料は平成26年度約1億2千100万円、平成28年度は1億5千700万円となっていります。

**問 大松委員** ひかり認定  
こども園の待機児童の状況  
と、保育士と子どもの人数  
の基準は。

**答** 事業委託料は、妊娠一般健康審査費と乳幼児健診等にかかる費用で、対象者すべてが受診できる予算を確保しています。

**答** 優秀な人材を採用したにも関わらず、早期に退職してしまった事は非常に残念で

# 四季の館駐車場の管理と課題

果夢工房と協議しながら  
営業に支障のないよう保守  
維持をしていきます。

保育士の基準は国と同じで、ゼロ歳児が1対3、1歳児が1対6、3歳児が1対20、4歳児が30歳児が30です。

**人工透析送迎状況は**  
**問 佐藤委員 人工透析送**  
迎利用者の利用回数は。  
**答 むかわハイヤーに委託**

**答** 委託料は運営費としての要因は、  
**問** 山崎満敬委員 地域保育所管理運営事務の不用額が1対20、4～5歳児が30～2歳児が1対6、3歳児が1対3、1歳児が1対1です。



## 決算審査特別委員会

## ズバリ指摘！

【介護保険特別会計】

## 問 佐藤委員 家族 介護者教室の内容は、

答　自宅で安心して介護できる体制を支援するため、介護の知識や技術の習得、介護サービスの利用方法について学習することを目的としています。

意見交換

**大松委員** う歯（虫歯）の  
子供たちが多い。無くして  
いくことを戦略的に取り組

空いている大原団地への入居希望者がいます。

公営住宅マスター・プランでは、入居できないとなつていますが、見直しを検討すべきでは。

佐藤委員 ふるさと納税の寄附金の減少が顕著です。

我が町のような小さな町には、大変必要な寄附金です。

減少原因を究明し、対策と行動を行うべきです。

三上委員 少子高齢化で、公共施設の不効率な利用実態が浮き彫りになつています。

そうしたことが積み重なつて、大きな支出に繋がつていると感じます。

公共施設管理計画を今後20年かけて改善するとして

**野田委員** ふるさと納税はこの3年間で約75%減少しています。町や観光協会にとつては大きな財源ですから、外部に委託するなど、プロの力を借りて戦略的に取り組む必要があると思います。

**山崎真照委員** 合併して10年が経過しましたが、まだまだ両地区における温度差を感じます。

互いに住民感情を逆なでするような言葉は聞くに堪えません。

そうしたこと踏まえてまちづくりに取り組むべきです。

**北村委員** 一般会計決算で約2億円の収入増となつていますが、多くは基金に

積み立てられています。

決算をふまえて

## 決算をふまえて

渋谷副町長 中央小学校  
改築、防災拠点となる富  
銀河会館建設、災害復旧  
どで、当初予算を超える  
型決算となりました。

厳しい財政運営でした  
国庫支出金や優良地方債  
確保等で、基金の繰り入  
を行いました

今後は、地方創生事業  
核となる恐竜を生かした  
ちづくりや、公共施設の  
率的な維持管理に努めて  
きます。

A black and white photograph showing several individuals from the waist down, wearing traditional Japanese clothing (yukata). They are standing in a line, holding bows (yabusame) and demonstrating their use. The setting appears to be an indoor or sheltered outdoor area.

馬簾（ばれん）をなびかせて



## 馬簾（ばれん）をなびかせて

# 一般質問

12月定例会では、6人の議員が12件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問と答弁を要約した内容は、9ページから14ページです。

## 大松紀美子議員（9ページ）

- 恐竜ワールド構想推進計画について
- 保健事業の感染症対策について

## 三上純一議員（10ページ）

- 指定管理施設のモニタリング実施の考え方について
- 「30・10」（さんまるいちまる）運動の推進について
- 道道穂別鵡川線の一部未拡幅及び道道千歳鵡川線の歩道の改善要請について

## 野田省一議員（11ページ）

- 食料品アクセス問題と今後のまちづくりについて
- 町政の評価と今後の展望について

## 山崎満敬議員（12ページ）

- 四季の館の運営について
- ふるさと納税について

## 北村修議員（13ページ）

- 町農業振興対策について
- 安心できる国保事業について

## 津川篤議員（14ページ）

- 観光協会のあり方について

※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。

むかわ  
町のこころが聞  
きたい

検討、議論する間もなく、  
度には実施設計、33年度にはグランドオープンすると

時点でお答えできる段階にはありません。

30年度には基本設計、31年の計画です。

そして、何度も聞いてい

ますが、予算規模が示され

ていません。

リニューアルの財源は、

国や道の使える補助事業は

ほとんどないと、委員会調

査の中で答弁もしています。

「恐竜を生かしたまちづ

くり」は、大変重要な施策

と考えていますが、町の身

の丈にあつた事業展開でな

ければなりません。

予算規模を示し、町民全

体での議論が必要と考えま

す。

答 予算規模について、現

ます。

問

恐竜ワールド推進計画

では博物館周辺エリアのリ  
ニューアル案が、3月中旬  
に明らかになるとしていま  
す。

しかし、その案を充分に

# 博物館周辺エリア整備の予算規模は

## 現時点では答えられません

備にいったいいくらのお金  
がかかるのかと言うことで  
す。

※この他、肺炎球菌ワク  
チン接種やインフルエン  
ザなど、保健事業の自己  
負担解消について質問し  
ています。

問 予算規模を示さずにリ  
ニューアル案を委託してい  
たのですか。

答 予算規模を示して計画  
を立てる委託をしていま  
せん。

出でた案の金額を見な  
がら、町として財源的にど  
うできるか摺り合せをする  
ことになります。

施設整備案の最終策定日  
は3月15日ですが、2月頃  
には事業規模など概算を示  
すことになります。

6月には基本設計の予算を  
組むような無謀な事をして  
はいけないと考えます。

時間がかけて、どの案が  
良いのか、また見直さなけ  
ればならないのか、検討調  
査会などを作り、充分議論  
して進めるべきと考えます

町長は、「町民との協働  
のまちづくり」を進めると  
常々述べています。  
選挙のさなか、充分な議  
論や調査も出来ないので、  
6月には基本設計の予算を  
組むような無謀な事をして  
はいけないと考えます。

その後、議会、まちづくり  
委員会、町民へのパブ  
リックコメントなどを進め  
が。

答

有利な起債、国・道と  
の連携と補助制度の活用な  
ど、むかわ町の身の丈に  
あつた、中・長期財政計  
画に基づいた財政規模で進め  
ていくことが望ましいと考



公開されたティラノサウルス レプリカ

# 道道千歳鵡川線の歩道の改善を

## 道への要請を強化します

問 道道千歳鵡川線のむかわ市街地区（福住）における歩道の状況が悪く、車道を歩く住民が増えていると聞いています。

市街地の歩道は、住民の買い物やウォーキングによる健康増進の役割を持つています。

しかし、歩道は所々狭く、り歩行者も多く、道路の交歩道面もでこぼこです。車道を歩くのは非常に危険です。

一刻も早く北海道への改善要請をすべきでは。

答 本年度は、室蘭建設管理部苦小牧出張所と協議し応急補修の対応をしています。

平成30年は歩道の補修工事の実施に向け、道に予算要求していると聞いています。校が隣接している個所であります。主要な商業施設や、学

校が隣接している個所であります。主要な商業施設や、学

## 道道穂別鵡川線の一 部未拡幅部分（米原 地区）の拡幅要請を

問 道道穂別鵡川線（米原地区）の未拡幅部分は、これまで幾度も改良要請を行つてきましたが、北海道との協議や、これまでの要請経緯と、現時点での見通しは。

答 町は、苦小牧地方総合開発期成会へ重点開発要請をし、北海道の社会資本整備要望としても毎年整備促進に向けて要望しています。

当該地区は一級河川鵡川の河川敷地の中にあることから、平成29年度、30年度



三上 純一 議員  
MIKAMI JUNICHI

の2ヵ年で調査設計を行い、31年度より改良拡幅整備事業の実施予定であると聞いています。

答 食品ロスの削減に向けて広報等を活用した周知等を行い、道が取り組んでいる「どさんこ愛食食べきり運動」を関連各種団体と協力しながら進めていきます。



料理は残さずに

### ことばの解説 ■「30・10（さんまるいちまる）」運動

宴会開始後の30分は自分の席で料理を楽しみ、終了前の10分になると幹事が呼びかけ自席に戻り、残った料理を食べ、食べ残しを無くしようとする運動。

## 食べ残しをなくすため

※この他、指定管理施設のモニタリング実施の考え方について質問しました。

問 宴会などでの食べ残しを無くするために「30・10（さんまるいちまる）」運動

答 食品ロスの削減に向けて広報等を活用した周知等を行い、道が取り組んでいる「どさんこ愛食食べきり運動」を関連各種団体と協力しながら進めていきます。

在協議検討しています。

町は、福祉的な視点、商

店街のあり方など、地域の  
実態課題、既存の資源、そ  
してニーズ等を把握分析し、  
効果的、効率的な対応が必

要と捉えています。

商工会、関係機関団体と  
の連携、調整を図り、引き  
続き対応する考えです。

問 先般、穂別地域住民諸  
団体で、買い物弱者の対策  
や地域再生を考える組織  
「穂別を進化させる会」が  
設立され町長と面談された  
と聞いていますが、会と協  
力して課題へ取り組む考  
えありますか。

答 「穂別を進化させる  
会」の代表の方々と会い、  
再生対策を長期的な展望が  
必要と思われますが、どの  
ような認識ですか

会の設立の趣旨等の報告は  
受けました。

会の主体的な活動の中で、  
解説に向けた前向きな議論  
を期待しています。

民間の視点での地域課題の  
解決に向けた前向きな議論  
を期待しています。

問 課題解決に向けて、5  
年、10年後の展望を持ち、  
今回、組織化された「穂別  
を進化させる会」と行政も  
一緒に協働作業が必要では  
ありませんか。

答 具体的な協力要請、相  
談支援内容の提示がありま  
せんので、詳細は判断でき  
ません。

今後、町の活性化に向け  
た事業展開を見きわめながら、  
検討をしていきます。

答 買い物弱者等への対応  
は、介護保険制度の生活支  
援体制整備事業等の中で現

## 町政の継続は 今後も尽力

くものと考えています。

改選期を迎え、今後の  
行政への継続についての現  
時点での考えは

答 これらの施策の具現化  
に今後も継続して尽力した  
いと考えています。

問 改選期を迎える際、  
行政への継続についての現  
時点での考えは

答 本町が抱える人口減少  
と少子高齢化、地域活力の  
維持復活という大きな課題  
の解決に向け、全精力を傾  
けてきました。

町長施政方針で示した4  
年間の主な政策については  
おおむね達成し、町長就任  
以来こだわってきました  
『耕そう！「むかわの底力」  
でわたしたちの未来』を  
テーマとした協働のまちづ  
くりを着実に努めてきました。

力を込めてペッタンコ



答 買い物弱者等への対応  
は、介護保険制度の生活支  
援体制整備事業等の中で現

の だ  
野田 省一 議員

NODA SHOICHI

足度といった総合的な評価  
というの、町民の皆さん  
が検証し、評価していくだ

**四季の館国道側の空き地の  
有効活用、専用駐車場を**

ニーズ調査を実施して

来年度にキャンピングカー等の利用者に対しても調査をし、実態や動向、どのようなサービスや環境を求めているか把握し、調査研究します。

問 11月までの納入状況は。  
① 答 件数で47%、金額  
② 返礼品の開発状況は。  
③ 観光協会との連携・協議で、得られた結果は。

てできる範囲なのか、任せられるかも含めて、観光協会との協議が必要だと思いませんが、こちらの思いだけで進めるものでないと思ってます。

観光シーズンになると  
キャンピングカーなど、他  
府県ナンバーの車が50、60  
台ほど見受けられ、年々増  
加の傾向にあり、一般町民  
の方とのトラブルが懸念さ  
れます。



はいポーズ

**問** 観光協会の補助金を増額し、専門の商品開発担当者の採用の考えは。

地元産米を使用した地酒セツト、穂別のホワイトアスパラ、原木シイタケセットの3品を追加しました。新商品の開発、ネット上での商品の内容説明の見直しで、4月から商品等のP.Rが一新しました。

**答** 現在、ふるさと納税に  
関して、どの課が担当して  
いますか。

**答** 特產品の返礼その他出  
来るものは、委託する方向  
で考えます。



やまざき  
山崎 みつよし  
満敬 議員

## ふるさと納税の納入状況は

前年度を上回る

答 特産品の返礼その他出来るものは、委託する方向で考えます。

# 町の農業振興は地域経済の柱になる

## 高齢化でもできる仕組み、新規担い手対策は重要施策に



きたむら  
北村 修 議員  
KITAMURA OSAMU



しめ縄づくり（富内小）

③町にあって、進む過疎化、人口減少の歯止め、町経済の柱となるのは第1次産業であり、なかでも生産拡大に向かっている農業であり、この分野での手だて振興こそがこれからマチづくりの根幹となります。そのためには、新規就農への支援の充実、さらに高齢になつても一定の営農ができるように、共同施設整備、作業支援体制の整備、確立等支援していく施策が求められます。

②集落支援員はどのようなものに。  
③町にあって、進む過疎化、人口減少の歯止め、町経済の柱となるのは第1次産業であり、なかでも生産拡大に向かっている農業であり、この分野での手だて振興こそがこれからマチづくりの根幹となります。そのためには、新規就農への支援の充実、さらに高齢になつても一定の営農ができるように、共同施設整備、作業支援体制の整備、確立等支援していく施策が求められますが。

### 問

町農業振興対策は。

①最終年となつてている農業振興計画の見直し作成はどうのように進められているのか。

### 答

①新計画の基本は、農業者、関係機関のみなさんの意向を反映し3月末に決定、4月スタートとなります。

②支援員は1名をニサナイ地区にモデル事業で配置しています。

### 問

国保都道府県化移行に伴い、保険税の負担等に不安があります。

示された資料では、均等割が引き上げられ、所得の低い世帯などが負担増になるのでは。

### 答

均等割、世帯割等で見ると確かに言えるかと思いますが、軽減部分があることから、それがイコールとならないと思います。これから新しい数値で作っていきたいと思います。

## 均等割、世帯割でみれば

そうなります

4月から国保事業が変わる。均等割が上がるのでは！



つがわ  
津川 あつし  
議員  
TSUGAWA ATSUSHI

## 財政支援措置で観光協会

### スタッフの増員を

### 更なる協議・検討が必要

事業、恐竜化石を活かした構築など、広域連携による

観光事業について協会と連携して取り組んで行きたいと考えています。そのための体制や財源確保に支援していきます。

そのうえで町は人件費等への補助金を算定します。イベント従事に係る代休もマッチするとなれば、そういうことも考えられます等で調整するものと判断しています。

スタッフ増員のための

補助金増額要請への対応は、  
協議検討が必要です。

いずれにしても、さらなる協議検討が必要です。

観光事業について協会と連携して取り組んで行きたいと考えています。そのための体制や財源確保に支援していきます。

問

観光協会は、スタッフ 予算の比較では、2千10 2名で年間48事業を展開し、0万円の予算減となつて関連業務を含めると、大方 休みなく活動しています。

町のPR事業を考えると 費について約90万円増額になつています。

①観光協会との協議内容は。  
②協会職員の代休は。

答

①予算編成時期に、年間の事業・財政支援要望に対する手当に関しても協議をして来年度の事業を固めます。

②協会は、独立した法人です。したがつて協会が臨時職員も含めて必要人員を確保し配置します。

③今後の観光協会の役割と町の役割は。

R、受け入れ事業、DMO 外出店や協会による町のP し、最終的に町と協議し、

答  
①28年度決算と29年度

R、受け入れ事業、DMO 外出店や協会による町のP し、最終的に町と協議し、

②イベントにおける町と觀光協会の役割は。

③今後の観光協会の役割と町の役割は。

外出店や協会による町のP し、最終的に町と協議し、



おいしいね（ししゃもあれトピア）

答 切実な事情と今後の展

望もあつて、町の考え方と

もマッチするとなれば、そ

う言うことも考えられます

が、要望があるからと言つて一概に増額可能とはなら

ないと思います。

### 穂別地区

※赤枠内は町長部局の回答です。

- ① 消防無線のデジタル化で電波の届かない所の改善を。

可能な限り住民の住んでいるエリアをカバーしたいと考えています。ただし、100%カバーは難しい箇所も考えられますので、災害時には無線の中継などにより支障が生じないような対応を図ります。

- ② 避難については早めに対応して欲しい。

避難が終了するまでの時間を考慮して、高齢者や障がいのある方のために、避難準備情報や避難勧告など、余裕のある避難情報の発信に努めます。

- ③ 避難訓練をしているが、特に夜の災害のとき、行動できるか心配だ。

事前に自主避難できる態勢を整えますので、町まで連絡ください。

- ④ ニサナイ富内間道路のゲートが降水量120ミリで封鎖されるので、避難や救助ができない地域があるので改善を。

現在は雨量などの規制では無く、パトロールにより事象があればゲートを閉鎖することになっています。また、北海道と規制区間について協議しています。平丘地区が孤立しない規制区間を考えています。

- ⑤ 災害についての危機意識を町民に持たせる活動が必要では。

防災訓練を継続するとともに、各自治会町内会にどのような危険個所があるかなど説明する機会を設けたいと考えています。

平成29年度議会報告会は、台風などによる災害対応、防災をテーマに、地域の防災に直接係わる自治会町内会長等を対象に、穂別地区、鶴川地区の2会場で15名の出席をいただき実施し、参加された皆様から提言・要望をいただきました。全員協議会で最終まとめを行い、町長部局へ調査研究要請をしました。

## 鶴川地区

- ① 田浦地区は平坦が多く災害時に排水ポンプは用意されているが、一部地域で冠水の心配がある。

過去の冠水箇所は町としても把握しています。災害時にはパトロールしています。今後、国営かんぱい事業が進めば解消される部分はあると考えています。

- ② 慶寿苑東側の小河川が氾濫直前でした。団地側の排水路が溢れ、慶寿苑の横を流れたので大変だった。今後も注視を。

パトロール箇所に入れて対応します。

- ③ モイベツ川は水量が多く、大雨時は氾濫の心配がある。

モイベツ川は、過去災害関連事業を行い一定程度改修をした経過があります。近年の時間雨量や雨量そのものの増大などがありますが、災害時にパトロールする箇所になっています。

- ④ 米原地区は防災組織はない。道路が決壊したり冠水の害が多くなった。水対策を望む。

⑥と同一な原因のため⑥にて回答

- ⑤ 自主防災組織の事業について、特に事務手続き等が煩雑すぎる。

自主防災組織については、自治会町内会が自分達の地域で何が危険（ハザード）かを認識し、どのように成了した場合避難行動につなげるなどを決めておくなど、目的を明確にすることが肝要だと考えています。自主防災組織規約などの書類作成などについては、総務企画課危機対策グループへ気軽にご相談ください。

- ⑥ 国営かんぱいでの排水方法や、春日橋上流の樋門のあり方について検討が必要である。

米原地区の雨（水）については、オサネップ川上流の現状では、用水から上流は流れる川が無い状態となっています。上流部が無くなった経過を調査し、対処方法を検討していきます。

- ⑦ 65歳以上の住民が75%の町内会では災害時の避難方法は難しい。悩んでいる。

現在まで洪水・津波・土砂災害のハザードマップを順次配布してきましたが、細部についてもお知らせすることが必要と考えています。各自治会町内会ごとに、どの災害に対して注意が必要で、避難の判断などを自分でも出来るよう、判断材料を示していきたいと考えています。

# 委員会報告

## 総務厚生文教常任委員会



### 学校給食について

【開催日】8月3日

11月6日

管理運営状況や安全・安心な給食の提供について、所管課より説明受け、その後現地調査と給食の試食を行いました。

6月30日から供用開始し

月・水・金曜日は米飯、火曜日はパン、木曜日は麺類が主食となつており完全給食が実施されています。

7月から9月にかけて保護者への試食会及びアンケート調査を行い、97%の方がとてもおいしかった・おいしかったと評価をされています。その後、鶴川学校給食センターの施設見学と給食の試食も行いました。

委員からは、給食を大変おいしくいただきました。残食率が全道平均よりも若干多いが、食育についてどのように取り組んでいくの



ある日の学校給食の献立

スポーツプラザの利用者



誓いを述べる新成人

### 四季の館の管理運営事務の現状と課題について

【開催日】11月15日

平成9年4月27日から供用開始がされている。また、

増は、健康志向が高まつたと考えているなどの回答がありました。

かなどの質疑があり、安心安全な給食を提供することに努力している。今後は食べ方・食べさせ方についても少しずつ取り組んでいきたいと回答がありました。

給食を配送車へ積み込む際、雨風を防げるようなプラットホームを早急に改善すべき。職員の休憩室への

交換を行い、調査を終了しました。

「道の駅登録」で本町を訪れる人が増え、宿泊施設の整備をしながら、滞在型観光の受け皿として「ホテル四季の風」が建設され、平成17年4月1日から供用開始となっています。

今後の課題は、四季の館建設から20年が経過し、老朽化が非常に進行している。

特に温泉管理設備では、配管や、ろ過器等の緊急修繕も含めた対応の強化が必要です。

委員からは、温泉入場者の減少やスポーツプラザの利用者増の要因などの質疑がありました。

温泉入場者の減少は、人口減少が主な要因と考えています。

スポーツプラザの利用者

ながら対応をしていただきたいなど意見交換を行い、調査を終了しました。

今、施設を大事に利用しながら対応をしていただきたいなど意見交換を行い、調査を終了しました。

# 委員会報告

## 産業建設常任委員会

### 農作物の作況及び農地の復旧状況について

【開催日】 10月13日

鶴川地区の作物の生育状況は水稻は3日遅く、大豆・てんさいは2日早く、春レタス、トマトは前年度より出荷量は好調です。

穂別地区は出荷作物全般を通して、前年度並みの状況です。メロンについては作物面積、出荷数量も減少しているが、平均価格が過去最高となっています。カントロについては、「ともりん」の市場評価も好評で販売額が昨年を上回る見込みです。

また両地区の和牛については、12ヶ月連続で70万円を超える高値で取引されています。

昨年8月発生の台風による農地の災害復旧事業内容は、畦畔（あぜ）崩壊・決壊、土砂流入・流出、水路埋塞、法面崩壊による復旧

工事となっています。

委員からは、災害箇所の

土壤改良、圃場環境を可能な限り復旧すべきでは。花卉生産者の戸数が激減して

いるなどの質疑があり、農地の復旧については可能な限り、意向を聞き対応を行いたい。また、花卉生産者の戸数減少については、鶴

川ブランドとして確立してきた経緯もあるので、生産者対策も十分に行なっていかなければなりません。

圃場環境も含め、基本的な考え方をまとめておく必要があるなど意見交換を行い、調査を終了しました。

ありました。

研修会は「大雨に対する防災・減災について」と題

し、室蘭地方気象台の予報官津田幸一氏による講演が

ありました。

平成28年に連続して発生した台風の進路や、今後における災害発生時の避難対応等についての講演に耳を傾けたところです。

### 表紙の写真



無火災、無災害を願つて鶴川消防出初め式のまといふりの皆さん



### 胆振管内町議会議員研修会

胆振管内の町議会議員研修会が11月8日午後2時から

ら議員・議会事務局職員79名が参加し、壮瞥町で開催

しました。

開会に先立ち、7名の議

員が10年以上の自治功労表

彰を受賞し、むかわ町から

佐藤守議員が表彰を受けま

した。

研修会は「大雨に対する

防災・減災について」と題

し、室蘭地方気象台の予報官津田幸一氏による講演が

ありました。

平成28年に連続して発生した台風の進路や、今後に

おける災害発生時の避難対応等についての講演に耳を傾けたところです。